



2021年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年9月3日

上場会社名 不二電機工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6654 URL <http://www.fujidk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 達史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理部門統括 総務部長 (氏名) 下村 徳子

TEL 075-221-7978

四半期報告書提出予定日 2020年9月11日

配当支払開始予定日

2020年10月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第2四半期の業績(2020年2月1日～2020年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	1,852	△2.7	183	33.0	191	24.2	133	11.5
2020年1月期第2四半期	1,903	△4.5	138	△34.4	154	△30.0	119	△20.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	22.50	22.41
2020年1月期第2四半期	20.21	20.13

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年1月期第2四半期	11,125	10,456	93.8	1,759.09
2020年1月期	11,158	10,482	93.7	1,765.89

(参考)自己資本 2021年1月期第2四半期 10,431百万円 2020年1月期 10,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2021年1月期	—	16.00	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,757	△4.7	259	△31.3	274	△31.4	190	△32.1	32.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期2Q	6,669,000 株	2020年1月期	6,669,000 株
② 期末自己株式数	2021年1月期2Q	738,730 株	2020年1月期	746,930 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期2Q	5,925,784 株	2020年1月期2Q	5,915,134 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明資料は2020年9月4日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、個人消費が大きく落ち込み、企業における輸出や生産活動が減少するなど、厳しい状況が続きました。

今後は、個人消費や企業の生産活動に持ち直しの動きが続くと見込んでおりますが、依然として、その先行きに不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社は、国内では電力、一般産業、電鉄・車両業界、海外では東南アジアや中近東各国を重点に営業活動を行った結果、国内向けの鉄道車両用半自動ドアスイッチパネルや鉄道変電向けインターフェイスユニットの新規採用がありましたが、海外向けの各種表示器や試験用端子が減少したことから、売上高は1,852百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

利益面におきましては、製造原価や販売費及び一般管理費に関する経費の抑制に努めたほか、一部の経費の発生が第3四半期以降に遅れる見込みとなったことから、営業利益は183百万円（前年同期比33.0%増）、経常利益は191百万円（前年同期比24.2%増）、四半期純利益は133百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

売上の状況は次のとおりであります。

なお、電気制御機器の製造加工及び販売事業が売上高の90%超であるため、売上の状況につきましては、製品分類ごとに記載しております。

(制御用開閉器)

国内外向け共に補助スイッチが減少しましたが、新製品の鉄道車両用半自動ドアスイッチパネルの新規採用や車掌スイッチが増加したことから、売上高は562百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

(接続機器)

各種汎用端子台の新規採用がありましたが、試験用端子やサーミアブソーバ端子台が減少したことから、売上高は692百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

(表示灯・表示器)

鉄道車両用表示灯が減少したほか、海外向けの各種表示器も減少したことから、売上高は235百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(電子応用機器)

アナンシェータリレーが減少しましたが、鉄道変電設備用各種インターフェイスユニットの新規採用や配電自動化子局用表示モジュールが増加したことから、売上高は294百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

(仕入販売等)

太陽光発電向け接続箱の販売が減少したことから、売上高は68百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末比32百万円減少し、11,125百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加427百万円、受取手形及び売掛金の減少72百万円、有価証券の減少200百万円、建物の減少51百万円及び投資有価証券の減少114百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比7百万円減少し、669百万円となりました。主な要因は、退職給付引当金の増加18百万円及び固定負債におけるその他の減少24百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末比25百万円減少し、10,456百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加38百万円及びその他有価証券評価差額金の減少74百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ527百万円増加し、1,273百万円(前年同四半期は754百万円)となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動による資金の増加は、385百万円(前年同期比120.9%増)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益191百万円、減価償却費127百万円、売上債権の減少額129百万円等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額10百万円及び法人税等の支払額50百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動による資金の増加は、236百万円(前年同期は105百万円の減少)となりました。要因は、定期預金の払戻による収入(同預入による支出との純額)100百万円、有価証券の償還による収入200百万円、金型投資を含む有形固定資産の取得による支出63百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動による資金の減少は、94百万円(前年同期比0.2%増)となりました。要因は、配当金の支払額94百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の業績予想につきましては、2020年8月26日付「2021年1月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表致しました通期の業績予想に変更はございません。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内外の設備投資に停滞感が増しており、特に国内の公共、民間施設向け製品や海外向け製品の販売に厳しい状況が続くと見込んでおりますが、引き続き顧客ニーズに沿った新製品の開発や販売強化、生産効率の向上、経費節減等に取組んでまいります。

なお、今後も業績予想の前提となる経営環境や販売動向に急激な変化が生じた場合には、速やかに開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,246,241	4,673,820
受取手形及び売掛金	1,242,238	1,169,621
電子記録債権	315,275	258,259
有価証券	200,180	—
製品	170,318	197,663
仕掛品	372,365	381,084
原材料	455,414	430,014
その他	38,153	52,452
流動資産合計	7,040,187	7,162,916
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,809,584	1,758,277
土地	1,347,627	1,347,627
その他(純額)	334,561	327,257
有形固定資産合計	3,491,773	3,433,162
無形固定資産	21,988	18,061
投資その他の資産		
投資有価証券	536,897	422,870
その他	67,961	88,815
投資その他の資産合計	604,858	511,685
固定資産合計	4,118,621	3,962,909
資産合計	11,158,808	11,125,825

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,591	101,782
短期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	78,366	68,119
賞与引当金	59,663	58,071
役員賞与引当金	4,190	—
製品保証引当金	53,721	49,999
その他	151,731	173,711
流動負債合計	572,264	571,684
固定負債		
退職給付引当金	68,497	86,609
その他	35,609	10,944
固定負債合計	104,107	97,553
負債合計	676,371	669,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,087,250	1,087,250
資本剰余金	1,710,519	1,711,863
利益剰余金	8,262,652	8,301,201
自己株式	△791,071	△782,388
株主資本合計	10,269,349	10,317,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	188,370	113,944
評価・換算差額等合計	188,370	113,944
新株予約権	24,716	24,716
純資産合計	10,482,436	10,456,587
負債純資産合計	11,158,808	11,125,825

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
売上高	1,903,430	1,852,846
売上原価	1,226,706	1,163,537
売上総利益	676,723	689,308
販売費及び一般管理費	538,685	505,674
営業利益	138,037	183,633
営業外収益		
受取利息	1,114	736
受取配当金	6,783	6,055
助成金収入	6,417	5,947
その他	2,236	3,273
営業外収益合計	16,551	16,012
営業外費用		
支払利息	543	546
投資事業組合運用損	—	7,183
その他	38	594
営業外費用合計	582	8,325
経常利益	154,006	191,320
特別利益		
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	12,028	—
特別利益合計	12,028	—
特別損失		
固定資産除却損	1,197	0
特別損失合計	1,197	0
税引前四半期純利益	164,838	191,320
法人税等	45,311	58,019
四半期純利益	119,527	133,301

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	164,838	191,320
減価償却費	151,536	127,512
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,860	△4,190
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,215	18,111
受取利息及び受取配当金	△7,898	△6,791
支払利息	543	546
厚生年金基金解散損失引当金の増加額 (△は減少)	△48,140	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	13,727	△3,722
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	7,183
助成金収入	△6,417	△5,947
有形固定資産除却損	1,197	0
売上債権の増減額 (△は増加)	26,739	129,633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△100,805	△10,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,779	△2,808
その他	△927	△16,266
小計	216,528	423,917
利息及び配当金の受取額	8,043	6,928
利息の支払額	△567	△565
助成金の受取額	6,417	5,947
法人税等の支払額	△55,816	△50,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,605	385,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,400,000	△3,300,000
定期預金の払戻による収入	3,400,000	3,400,000
有価証券の償還による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△90,283	△63,254
無形固定資産の取得による支出	△15,199	—
その他	50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,433	236,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△94,065	△94,280
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,065	△94,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,413	△593
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,306	527,579
現金及び現金同等物の期首残高	780,591	746,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	754,285	1,273,820

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業が売上高の90%超であるため、セグメントの記載を省略しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業のみであるため、製品分類別に記載しております。

[生産実績]

当第2四半期累計期間の生産実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	531,730	96.5
接続機器 (千円)	725,646	101.5
表示灯・表示器 (千円)	243,237	70.8
電子応用機器 (千円)	319,438	106.0
合計 (千円)	1,820,052	95.2

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

[受注状況]

当第2四半期累計期間の受注状況を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御用開閉器	532,511	96.4	229,563	106.6
接続機器	687,155	91.8	156,794	97.7
表示灯・表示器	237,611	75.5	98,440	91.9
電子応用機器	282,539	99.9	122,506	82.5
仕入販売等	115,809	84.6	70,312	110.1
合計	1,855,627	91.1	677,617	97.5

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

[販売実績]

① 当第2四半期累計期間の販売実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	562,276	105.6
接続機器 (千円)	692,349	95.4
表示灯・表示器 (千円)	235,137	82.0
電子応用機器 (千円)	294,221	104.7
仕入販売等 (千円)	68,861	88.6
合計 (千円)	1,852,846	97.3

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

② 当第2四半期累計期間の国内及び海外販売実績は、次のとおりであります。

販売形態	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	前年同期比 (%)
国内販売 (千円)	1,738,286	100.8
海外販売 (千円)	114,559	64.0
合計 (千円)	1,852,846	97.3

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

3. 海外販売は輸出向け商社への販売及び直接輸出の合計であります。

4. 当第2四半期累計期間の海外販売の割合は、次のとおりであります。

なお、海外販売実績は、総販売実績の6.2%となっております。

販路	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
東南アジア	84,187	73.5
中近東	15,110	13.2
中国	11,355	9.9
その他	3,906	3.4
合計	114,559	100.0

以 上